

# 水稻害虫防除警報

No. 2  
R 1. 9 月

● トビイロウンカ（秋ウンカ）の量が、過去十年間で、最も多い状況です。  
● 今後、収穫期にかけて、坪枯れの被害が懸念されます。  
● 水田をよく観察し、生息する場合は、**確実に株元に届くように薬剤防除を実施しましょう。**

## 危険水準



株元を集中的に加害します



※ 9月上旬に、成虫メスが1頭でもいれば、約 500 個程度の卵を株元に産卵するため、約 2 ~ 3 週間で、急激に生息密度が上昇し、坪枯れの発生を招きます。



トビイロウンカによる坪枯れ

## 推奨薬剤

### 【粒剤】

スタークル豆つぶ

（散布量 10アール 250g 収穫7日前まで）  
※ 散布機を背負わずに、畦からの手まき散布が可能で、省力型の薬剤です。  
※ 水田に水をためて（3 ~ 5cm）散布し、**4 ~ 5日間は湛水状態に**しましょう。

### 【粉剤】

スタークル粉剤 DL

（散布量 10アール 3kg 収穫7日前まで）

### 【液剤】

スタークル液剤 100

（散布量 60 ~ 150リットル 1000倍 収穫7日前まで）  
※ **株元まで確実に薬剤が到達し、殺虫効果を高めるために、水田に水をためて散布しましょう。**

## ※注意※

なお、防除後も、地域や水田により発生状況が異なる場合がありますので、引き続き、発生状況を観察しましょう。

都城農業協同組合  
北諸県地区営農振興協議会普通作部会  
（監修）北諸県農業改良普及センター